

# 第47期事業報告書

(平成15年2月1日～平成16年1月31日)

証券コード：7956



社団法人発明協会 第25回未来の科学の夢 絵画展 小学校・中学校の部 特許庁長官賞「お天気よほうハット」

秋田県本荘市立石沢小学校1年 板垣 聖理菜さん

このぼうしをかぶると、おんどやくうきのようなすからつぎの日の天気をよそうしてくれます。晴れなら晴れのもようがぼうしいっぱい広がってわかります。

# 決算ハイライト

## 売上

3.3%増

(連結売上高/前期比)

売上高は前期を10億99百万円上回り、341億56百万円となりました。子育て支援事業の伸長と新商品投入による小売店の店頭販売強化などが寄与し、国内売上は6億50百万円(2.2%)増の301億47百万円となりました。海外市場では韓国、中近東向け販売が伸びて、4億48百万円(12.6%)増の40億9百万円となりました。

## 損益

8.0%増

(連結経常利益/前期比)

新商品を中心に販促活動を強化した結果、販売管理費は前期比3.8%増加しました。しかしこれら経費の増加は生産コスト低減によって吸収し、営業利益は前期比1億54百万円(6.2%)増加しました。経常利益も1億85百万円増加し、ROAは前期の7.4%から8.1%へ改善しました。

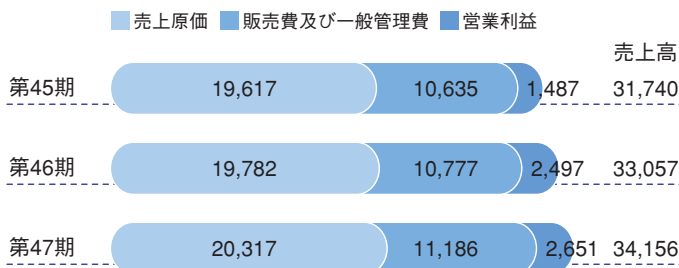
## 資産

5.1%減

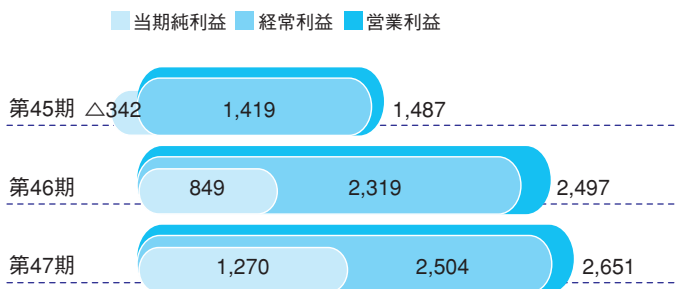
(連結総資産/前期比)

業績は拡大しましたが、総資産は前期比16億21百万円減少しました。その主な要因は、財務体質を強化し経営効率をさらに改善するため、投資有価証券を売却し銀行借入金の返済を進めたことによります。

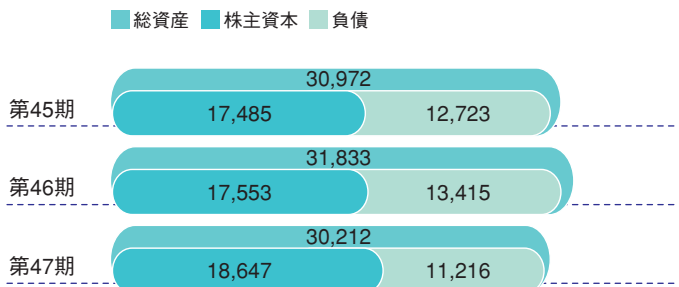
### ● 売上高と原価・経費の推移 (単位:百万円)



### ● 利益の推移 (単位:百万円)



### ● 財務の構成 (単位:百万円)



## 経営課題の確実な遂行により増収増益。 「企業価値の創造21」の達成に努めます。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃のお引き立てに対し厚く御礼申し上げます。

当社は、グループ内各社の事業シナジーにより総合力を発揮することで、21世紀における成長基盤の構築と育成を目指した中期3ヵ年経営計画「企業価値の創造21」に取り組んでおります。その2年目である当期は、経営の最重要課題「海外事業の強化」「子育て支援事業の拡大」「事業効率の向上」を確実に遂行したことにより、国内・海外ともに順調に推移し、売上・利益とも前期を上回る実績を達成いたしました。

本年は、子育て支援事業で4月から全国の国立病院・療養所の院内保育園の運営を受託したことなどにより、大幅な売上・利益の向上が見込まれております。

また、ヘルスケア事業では、老人ホーム等施設向け介護用品の製造・販売会社である多比良株式会社を本年2月2日付で当社の子会社といたしました。これにより病院・施設等への販売力が強化され、当事業の拡大を図ってまいります。

第48期は中期経営計画の最終年度として経営課題を確実に達成することにより、グループの業績拡大を図り、株主の皆様のご期待に応じてまいりたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



平成16年4月 代表取締役社長

木村 誠一



中期3ヵ年経営計画（第46期～第48期）

# 「企業価値の創造21」の進捗について

## 第47期の主な取り組み

中期3ヵ年経営計画の2年目は、収益拡大と同時に成長分野での競争力強化と優位性の確立に力を注ぎました。

### 三世代マーケティングの深耕

#### 新たな成長分野を手中に

出生数の減少により育児用品市場は縮小傾向にあります。このような中で、当社は新商品を積極的に投入し販売強化に努めました。たとえば「おしっこ吸収ライナー」や「親子で乳歯ケア（シリーズ）」などです。これら特色のある新商品は消費者からの反応もよく、順調に売上を伸ばしました。

子育て支援事業は、子会社ピジョンハーツ(株)による事業所内保育が特に好調で、株式会社日立製作所、トヨタ自動車株式会社など新規に6件の運営を開始いたしました。ピジョン本体で運営する認可保育園と合わせた事業規模は約16億円、前期比30%の増収となり、子育て支援のトップブランドとして地歩を固めつつあります。

ヘルスケア事業は、高齢化社会の進展を背景に市場は拡大しているものの、消耗品が売上の半数を占めており、低価格化の影響もあって利益率の確保が難しい状況です。このような中で今後の長期的な成長を確実にするため、多比良株式会社への資本参加を決定しました。

その他事業では、マタニティ関連用品の子会社ピジョンウィル(株)が、小売店でのコーナー展開によって消費者への訴求力を高めることに成功し、売上を伸ばしたほか、「ハーブティー」や「サプリメント」が仕入・販売の形態を見直し、収益構造の変革を図ったことなどにより、売上、利益ともに大きく改善しました。

### 海外事業戦略の強化について

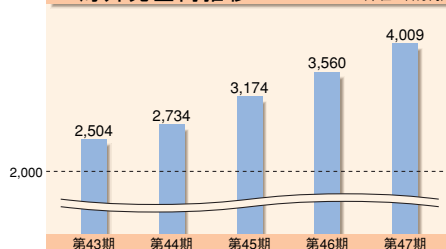
#### 海外生産・販売が好調

海外事業は、ピジョン本体からの輸出とシンガポール、タイ、中国、インドネシアでの生産・販売で構成されています。日本からの輸出では、「ベビーフード」や「乳首」「ウエットナップ（おしりナップ）」が韓国や中近東向けに増加し、海外での売上は前期比12.6%伸びて約40億円になりました。特にこの数年、北米への「母乳パッド」をOEM供給しているPIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD.の伸びが目覚しく、前期比で大幅な増収増益でした。同社では生産設備を増強してもなお、フル操業が続いています。

一方、成長著しい中国市場の開拓を進めるPIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.は、病産院を中心に商品の普及活動に努めた結果、品質の高さが評価され、現地の所得水準からは高額であるにもかかわらず、百貨店での「高級ブランド・ピジョン」として浸透し、売上は順調に推移しています。4月からは「乳首」の現地生産も開始し、収益の飛躍的な拡大が見込まれます。

● 海外売上高推移

(単位：百万円)





## 第48期の重点課題

### 事業基盤の強化

### 成長分野への重点投資

### グループ事業体制の効率化

### 人・組織の改革

3ヵ年経営計画の最終年度となる第48期には、この計画をより高い水準で達成するため、上記4つの変革軸を確実に実行し、企業価値の増大を図ってまいります。

#### 事業基盤の強化

当社の主軸をなす育児用品は、「国内市場は拡大が望めない」という認識のもと、収益重視の戦略を推し進めていく方針です。安定的な収益構造を堅持した企業となるため、他社とは一線を画した長年にわたる研究に培われた独自の商品、顧客ニーズを的確に捉えた商品を開発・投入し、付加価値を追求していきます。

商品開発力の強化とともに、グループ内各社の事業シナジーにより三世代マーケティングにおけるブランドロイヤリティを向上させ、競争優位性を確立することを目指しています。同時にキャッシュ・フローを重視し一層の財務強化と経営効率の改善に注力いたします。

#### グループ事業体制の効率化

生産子会社・関連会社との間で、これまで以上の生販協働体制を作り上げ、グループ全体の利益の最大化を図ります。ピジョンウィル(株)の経営体質をさらに強化するとともに、今後の可能性が期待できる介護サービスのピジョン真中(株)について、事業基盤をより一層整備していくことを重点的に進めたいと考えています。

#### 人・組織の改革

3ヵ年経営計画の目標実現に向けて人事制度も改革してまいりました。成果主義を取り入れ、社員ひとり一人の目標設定と評価システムを導入し、目標管理制度の運用を強化しました。さらに個人の自立的行動に根ざした改革的企業風土の醸成を図り、制度の継続的改善を実施していきます。また、グループの価値最大化を目的として成長分野に人材を振り向け、効率的な人員の配置を行ってまいります。

#### 成長分野への重点投資

当社が考える成長分野は、子育て支援、海外、ヘルスケアの3事業です。子育て支援事業へは積極的に経営資源を投入し、事業の拡大を図ってまいります。本年4月に国立病院と国立療養所が独立行政法人化されたことに伴い附属の保育施設が民間に委託され、当社が全国116ヵ所の運営を受託しました。そのため子育て支援事業の売上は、一挙に2倍以上になり、トップ企業として強固な基盤が整うこととなります。

海外事業では、市場として今後に大きな可能性をもつ中国で現地生産を開始します。これまでは大都市のデパート、ベビー専門店を中心に展開していましたが、現地生産によりピジョンブランドの全土的な浸透を視野に入れます。またタイの子会社からの輸出によるアメリカ市場の開拓は、OEMとはいえ当社商品の品質の高さが消費者に受け入れられ成功していることから、新たな可能性も見えてきました。海外事業のさらなる拡大に向け取り組んでまいります。

ヘルスケア事業は、本年2月に多比良(株)を子会社としたことで、拡大に弾みがつくと思われれます。今後は商品開発・生産・販売のすべてにわたりグループ内の連携を強め、売上100億円へ向けて基盤確立に努めてまいります。



### 上半期の活動

#### ■ 2月

- 「マグマグ」にディズニーキャラクターを採用した4アイテム新発売
- ベビー飲料に紙バックタイプ「緑黄色野菜&りんご100」「緑黄色野菜&ぶどう100」追加
- 高齢者向けスキンケア用品「ふくだけ簡単シャンプーナップ」「からださわやか清拭タオル」新発売



#### ■ 4月

- 紙おむつの消費量を軽減させる「おしっこ吸収ライナー」2アイテム新発売
- 離乳後期、完了期用ベビーフードに各2アイテム追加
- セラミドリッチシリーズに「ボディジェルローション」追加



#### ■ 3月

- 女性のための尿もれケア用品「ピーチライナー」「シルエットガード」「快適パッドゆるやかカーブ」「吸収パンツ」全12アイテム新発売



#### ■ 5月

- トータル乳歯ケアシリーズ「親子で乳歯ケア」4アイテム新発売
- 「除菌もできるおしぼりナップ」2アイテム新発売



#### ■ 7月

- 妊娠線予防「キュアケアボディマッサージクリーム」に250gボトルを追加



2月

3月

4月

5月

6月

7月

#### ■ 2月

- ビー・エイチ・ピー兵庫(株)で「ピーチライナー」等、超軽度尿失禁用パッド製造機械設備が起動
- 「阪急キッズワールド南茨木」(大阪府茨木市)オープン

#### ■ 4月

- 株式会社日立製作所、トヨタ自動車株式会社および万有製薬株式会社からの従業員向け保育施設の受託運営をそれぞれスタート

#### ■ 6月

- 「21世紀の育児フォーラム 家族で考える楽しい育児」に協賛
- 「キッズワールド伊勢崎宮子」(群馬県伊勢崎市)オープン

#### ■ 7月

- (株)フクヨー茨城が「PHP茨城(株)」に商号変更
- 「ピジョンランド練馬高野台」が東京都の認証保育所として認可

#### ■ 3月

- 「阪急キッズワールド箕面」(大阪府箕面市)、「京阪キッズワールド枚方」(同枚方市)、「泉北高速鉄道泉ヶ丘駅構内」に「キッズワールド泉ヶ丘」(同堺市)オープン
- 第1回ベビー&キッズフェア・ジャパンに出展

#### ■ 5月

- 第17回「ピジョン赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」実施。同キャンペーンに対し林野庁から感謝状授与
- PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD. がタイ労働福祉省主催の労働安全コンクールで「優秀労働安全衛生工場」に2年連続で認定
- P.T. MODERN PIGEON INDONESIAが「P.T. PIGEON INDONESIA」に商号変更
- 筑波事業所がISO活動の一環として「環境報告書」を作成



## 下半期の活動

### 8月

- 食器用具シリーズ「じぶんで食べる」に4アイテム追加
- 手の感覚や操作を自然に育てるおもちゃ「手と知恵のばらばらリング」「手と知恵のくみたてリング」新発売
- 風邪シーズンのケア用品「鼻すっきりスティック」「鼻・のどすっきりシート」「そのままひんやりクールまくら」新発売
- 「尿とりパッドおやすみ用ワイドタイプ」「清拭料泡タイプ」「耐熱防水シート」2アイテム新発売



### 10月

- 「食べこぼしキャッチエプロン ディズニーベビー」新発売
- 「マタニティ・ハーブティー」3アイテム追加
- 「電子レンジスチーム&薬液消毒ケースそのまま保管」「炊飯器用おかゆポット」「離乳食用フリージングトレイ」新発売
- 天然植物性成分使用「おむつ・肌着洗い」新発売



### 9月

- 「簡単ポケットこぼさない食事エプロン」2アイテム新発売
- からだふき用ウエットティッシュを温める「からだふきウォーマー」新発売
- 「母乳実感」シリーズに「哺乳ビンPES」2アイテム追加

※PES：環境ホルモン対策用素材



### 12月

- 自動車内に設置しやすい「おき場所すっきりウエットティッシュ」3アイテム新発売



8月

9月

10月

11月

12月

1月

### 8月

- ビジョンキッズワールド(株)へ子育て支援事業を譲渡し、同社は商号を「ビジョンハーツ(株)」に変更
- ピー・エイチ・ピー兵庫(株)が「PHP兵庫(株)」に商号変更
- ピップフジモト株式会社の株式の一部を取得

### 10月

- 女性向け尿もれケア用パッド類が2003年グッドデザイン賞を受賞
- ミキハウス保育施設の運営コンサルティングスタート
- 第30回国際福祉機器展に初回より連続出展



### 9月

- 株式会社新生銀行の従業員向け保育施設の受託運営スタート
- 「京阪キッズワールドくずは」(大阪府枚方市)オープン
- 「おしゃれでおいしいプレゼント」第3弾(2003.9月~2004.6月)スタート

### 11月

- ボーダフォン株式会社の子会社向け保育施設の受託運営スタート
- 「キッズワールドドルネ横浜・井土ヶ谷」(神奈川県横浜市)オープン

### 12月

- 「阪急キッズワールド豊中」(大阪府豊中市)オープン
- 常総研究所の研究開発部門がISO9001認証取得

### 1月

- 日本チェーンドラッグストア協会の「ベビーケアアドバイザー」認定制度設立に協力し、2月より養成講座スタート

事業内容をご説明いたします

営業の概況

## 海外事業の強化、 子育て支援事業の拡大により増収増益を達成。

当期の経済状況は、前半はイラク戦争やSARS問題など懸念材料を抱えましたが、それぞれの終結を転機に景気回復への動きが徐々に見えてまいりました。当社グループは中期経営計画の2年目として、積極的な経営戦略、攻めの販売戦略を展開し、迅速で適切な意思決定が行える社内環境を構築するとともに、グループの総合力で収益構造を見直し、コスト競争力のさらなる強化へ傾注してまいりました。

### ● 育児事業の概況

育児用品においては、消耗品等の低価格化は下げ止まり傾向を示すものの、ドラッグストアやベビー専門店の新規出店スピードが速く、価格競争は今後も予断を許さない状況です。このような中、長年にわたる赤ちゃんの行動研究の成果をもとに他社との差別化が打ち出せる新商品を積極的に投入し、有力小売店の一層の店頭販売強化を図り、商品の育成に努めてまいりました。



自分で食べるための学習をうながす食事用具シリーズ



組立例

手の感覚や操作を自然に育てるおもちゃ

海外部門は、SARSの影響も見られましたが、地域別では韓国、中近東が、商品別では「ベビーフード」「母乳パッド」「乳首」「ウエットナップ」等が好調でした。海外子会社ではPIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO.,LTD.の「ウエットナップ」「母乳パッド」が生産、販売とも伸長し、特に「母乳パッド」は北米、ヨーロッパでも売上を伸ばしております。今後も「ウエットナップ」「母乳パッド」を世界戦略商品として販売を拡大してまいります。また、100%出資子会社であるPIGEON (SHANGHAI) CO.,LTD.は急拡大する中国マーケットにおける販売店でのシェア獲得のため、病産院への普及活動を中心に営業活動を行いました。

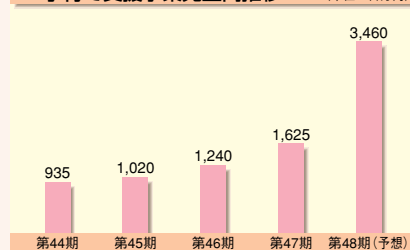


上海市内ベビーショップの店頭

子育て支援事業は、昨年7月に「ピジョンランド練馬高野台」が東京都の認証保育所として認可され、同月に運営を始めました。また事業所内保育園は、株式会社日立製作所、トヨタ自動車株式会社、万有製薬株式会社、ボーダフォン株式会社、株式会社新生銀行などから運営の委託を受けるなど、順調に推移しております。

### ● 子育て支援事業売上高推移

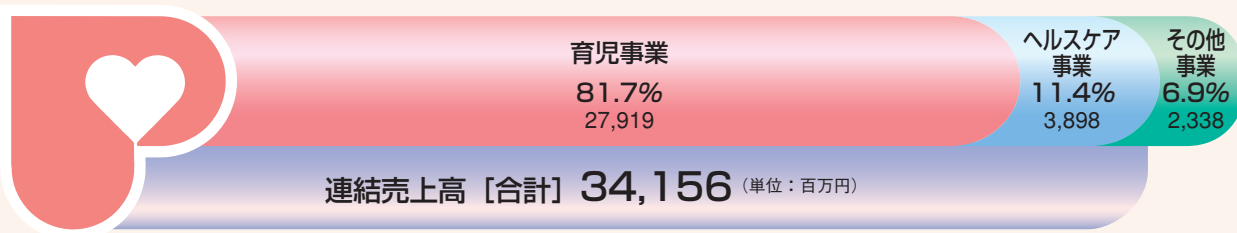
(単位：百万円)



(注) 第47期下期以降の売上高は、ピジョン(株)とピジョンハーツ(株)の合計額を表示しております。



## 事業別売上高構成比



### ●ヘルスケア事業の概況

主力商品である「尿とりパッド」は、市場でのシェアアップと販売額の増加に向けて、積極的な営業活動を行ったことにより販売目標を上回りました。一方、在宅介護支援サービスの子会社であるピジョン真中(株)は、栃木県下において地域に密着したサービスの提供を行ってまいりました。



新発売の夜用タイプを加えてさらに充実した尿とりパッドシリーズ

### ●その他事業の概況

当事業の中心となる女性ケア用品においては、快適なマタニティライフを過ごすための「サプリメント」と「ハーブティー」妊娠線予防などのスキンケア用品の小売店への販売促進活動を展開したことにより、前期売上実績を大幅に更新いたしました。また、連結子会社であるピジョンウィル(株)も積極的な販売活動が奏功し、売上、利益とも前期実績を上回りました。

### ●当期の業績について

当期の連結会計年度業績は、売上高341億56百万円（前期比3.3%増）、経常利益25億4百万円（前期比8.0%増）、当期純利益は12億70百万円（前期比49.5%増）となりました。配当金は1株当たり普通配当16円（すでに中間配当金1株につき8円をお支払いしております）といたしました。また、当社単独の当期の業績は、売上高292億7百万円（前期比1.0%減）、経常利益は13億79百万円（前期比7.8%増）、当期純利益は6億69百万円（前期比55.9%増）となっております。

## Information

### インターネットショッピングサイト <ピジョンピュア> 開設



本年2月から子会社のピジョンホームプロダクツ(株)は、健康な生活をサポートするインターネットショッピングサイト「ピジョンピュア」を開設いたしました。上質なニュージーランドの蜂蜜、フルーティーなカナダからのハーブティーをはじめ、幅広い年代のお客様にご愛顧いただける商品を今後も扱ってまいります。

ホームページアドレス

<http://www.pigeonpure.net/>

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	第47期	第46期	増減
	平成16年1月31日現在	平成15年1月31日現在	
資産の部			
流動資産	14,416	13,927	489
固定資産	15,795	17,906	△2,111
<b>① 資産合計</b>	<b>30,212</b>	<b>31,833</b>	<b>△1,621</b>
負債の部			
流動負債	8,871	10,376	△1,505
固定負債	2,344	3,038	△694
<b>② 負債合計</b>	<b>11,216</b>	<b>13,415</b>	<b>△2,199</b>
少数株主持分	348	865	△516
資本の部			
資本金	5,199	5,199	—
資本剰余金	5,134	5,133	1
利益剰余金	8,976	8,033	942
その他有価証券評価差額金	△13	△175	161
為替換算調整勘定	△376	△341	△35
自己株式	△273	△296	23
<b>③ 資本合計</b>	<b>18,647</b>	<b>17,553</b>	<b>1,094</b>
負債、少数株主持分及び資本合計	30,212	31,833	△1,621

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 12,364百万円 11,500百万円  
 2. 1株当たり当期純利益 63円59銭 43円02銭  
 3. 連結財務諸表規則の改正により、当期から資本の部の表示方法を変更したため、前期末についても同一の基準で組み替えて表示しています。  
 ※ 百万円未満は切り捨てています。

## 連結剰余金計算書

(単位：千円)

	第47期
	平成15年2月1日から 平成16年1月31日まで
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	5,133,608
資本剰余金増加高	1,229
資本剰余金期末残高	5,134,837
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	8,033,592
利益剰余金増加高	1,270,955
利益剰余金減少高	328,082
利益剰余金期末残高	8,976,465

※ 千円未満は切り捨てています。

### POINT ①

#### 連結資産

流動資産は前期に比べ4億89百万円増加しました。固定資産は21億11百万円、約11.8%減少しました。これは設備投資が減価償却額を下回ったため、有形固定資産が6億64百万円減少したのに加え、経営効率をさらに改善させる観点から投資有価証券の保有を13億62百万円減らしたことによります。

### POINT ②

#### 連結負債

流動負債は前期末に比べ15億5百万円、固定負債も6億94百万円減少しました。これは短期および長期借入金返済を進めたことによります。有利子負債は前期末に比べ45.9%減少し、20億71百万円少ない24億42百万円になりました。

### POINT ③

#### 連結株主資本

当期純利益が12億70百万円計上され、配当金3億19百万円などを差引いても株主資本は10億94百万円増加しました。株主資本比率は61.7%となり、1株当たり株主資本は932.65円、ROEは前期の4.9%から7.0%へ改善しました。

〔連結の範囲に関する事項〕 次の11社を連結の対象にしています。  
 ビジョンホームプロダクツ(株) ビジョンウィル(株)  
 ビジョンハーツ(株) ビジョンクオリティオブライフ(株)  
 PHP兵庫(株) PHP茨城(株) ビジョン真中(株)  
 PIGEON SINGAPORE PTE.LTD. PIGEON(SHANGHAI)CO.,LTD.  
 PIGEON INDUSTRIES(THAILAND)CO.,LTD. THAI PIGEON CO.,LTD.

〔持分法の適用に関する事項〕 次の2社について持分法を適用しています。  
 クラフレックス茨城(株) P.T. PIGEON INDONESIA

〔商号変更について〕

- 5月 P.T. MODERN PIGEON INDONESIAからP.T. PIGEON INDONESIAへ
- 7月 (株)フクヨー茨城からPHP茨城(株)へ
- 8月 ビー・エイチ・ビー兵庫(株)からPHP兵庫(株)へ  
 ビジョンキッズワールド(株)からビジョンハーツ(株)へ

## 連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

	第47期 平成15年2月1日から 平成16年1月31日まで	第46期 平成14年2月1日から 平成15年1月31日まで	増 減
<b>4</b> 売上高	34,156	33,057	1,099
売上原価	20,317	19,782	535
販売費及び一般管理費	11,186	10,777	409
営業利益	2,651	2,497	154
営業外収益	332	385	△53
営業外費用	479	563	△84
<b>5</b> 経常利益	2,504	2,319	185
特別利益	157	6	150
特別損失	661	497	164
税金等調整前当期純利益	2,000	1,828	171
法人税、住民税及び事業税	389	792	△403
法人税等調整額	238	△17	256
少数株主利益	101	203	△101
<b>6</b> 当期純利益	1,270	849	420

※ 百万円未満は切り捨てています。

\* △は損失を表しています。

## 7 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

	第47期 平成15年2月1日から 平成16年1月31日まで	第46期 平成14年2月1日から 平成15年1月31日まで	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,156	3,312	△1,156
投資活動によるキャッシュ・フロー	374	△961	1,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,427	△3,375	948
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	9	△26
現金及び現金同等物の増減額	85	△1,015	1,101
現金及び現金同等物の期首残高	3,137	3,873	△735
新規連結による増加額*	—	279	△279
現金及び現金同等物の期末残高	3,223	3,137	85

※ 百万円未満は切り捨てています。

\* 新規連結による現金及び現金同等物の増加額

### POINT 4

#### 連結売上高

事業ごとの売上は育児が1.7%増、ヘルスケアが4.3%増、女性ケアを中心としたその他が25.0%増とそれぞれ伸長しました。育児事業の子育て支援事業が順調で、特に事業所内保育運営は新規に6件オープンし、拡大のスピードが加速しています。その他事業ではマタニティ関連の売上が好調でした。

### POINT 5

#### 連結経常利益

経費の増加をコスト低減で吸収し営業利益は前期比6.2%増加しました。さらに借入金削減による支払利息の減少、為替差損の減少などで営業外収支が30百万円改善したため、経常利益は前期に比べ8.0%増加しました。また、売上高経常利益率は前期の7.0%から7.3%へ改善しました。

### POINT 6

#### 連結当期純利益

退職給付制度を変更したため4億73百万円の特別損失を計上しましたが、45期に引き当てる貸倒引当金の戻入益、投資有価証券売却益のほか同評価損の改善がプラスに働き、税金等調整前当期純利益は9.4%増加しました。さらにIT投資や試験研究費の新たな税額控除などにより税金が減少し、純利益は49.5%増加しました。

### POINT 7

#### 連結キャッシュ・フロー計算書

増益となりましたが、法人税の支払額も多かったことなどにより営業活動は21億56百万円の収入となりました。投資活動は有形・固定資産および子会社株式の取得があったものの投資有価証券の売却により3億74百万円の収入となりました。財務活動は長期借入金の返済を進めたことで24億27百万円の支出となりました。

## 単独貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

	第47期	第46期	増 減
	平成16年1月31日現在	平成15年1月31日現在	
資 産 の 部			
流動資産	11,655	11,462	193
固定資産	12,436	14,920	△2,484
資産合計	24,092	26,383	△2,291
負 債 の 部			
流動負債	5,056	7,543	△2,487
固定負債	1,035	1,367	△332
負債合計	6,091	8,911	△2,819
資 本 の 部			
資本金	5,199	5,199	—
資本剰余金	5,134	5,133	1
利益剰余金	7,952	7,611	341
その他有価証券評価差額金	△13	△175	162
自己株式	△273	△296	23
資本合計	18,000	17,472	528
負債及び資本合計	24,092	26,383	△2,291

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額      7,659百万円      7,434百万円  
 2. 1株当たり当期純利益                      33円47銭              21円72銭  
 3. 財務諸表等規則の改正により、当期から資本の部の表示方法を変更したため、前期末についても同一の基準で組み替えて表示しています。
- ※ 百万円未満は切り捨てています。

## お耳拝借 会社の用語

### 確定拠出年金

「日本版401k」と一般に称される確定拠出年金は、人材の流動化や成果主義の導入など労働慣行の変化に柔軟に対応できる年金制度として、採用企業が徐々に増えています。従来からの確定給付年金が将来の年金額を約束しているのに対し、確定拠出年金は、加入者が自己責任で運用するため、運用結果により年金受取額は異なってきます。当社でも第48期から同制度に移行しました。



## 単独損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

	第47期	第46期	増 減
	平成15年2月 1日から 平成16年1月31日まで	平成14年2月 1日から 平成15年1月31日まで	
売 上 高	29,207	29,503	△295
売 上 原 価	18,271	18,755	△483
販売費及び一般管理費	9,579	9,333	246
営 業 利 益	1,357	1,414	△57
営 業 外 収 益	346	262	84
営 業 外 費 用	324	397	△72
経 常 利 益	1,379	1,279	99
特 別 利 益	227	85	142
特 別 損 失	627	603	23
税引前当期純利益	979	761	218
法人税、住民税及び事業税	97	377	△279
法人税等調整額	212	△45	258
当 期 純 利 益	669	429	239
前 期 繰 越 利 益	4,110	4,171	△61
自己株式処分差損	－	198	△198
中 間 配 当 額	159	152	7
当 期 末 処 分 利 益	4,619	4,249	370

※ 百万円未満は切り捨てています。

## 利益処分

(単位：千円)

当 期 末 処 分 利 益	4,619,493
固定資産圧縮積立金取崩額	26,075
計	4,645,568
これを次の通り処分いたしました。	
配 当 金 ( 1 株 に つ き 8 円 )	159,952
固定資産圧縮積立金	21,392
次 期 繰 越 利 益	4,464,224

(注) 1. 平成15年10月20日に159,914千円(1株につき8円)の中間配当を実施いたしました。  
2. 固定資産圧縮積立金は、法定実効税率の変更による繰延税金負債の減額修正に伴う繰入額です。

※ 千円未満は切り捨てています。

株主の皆様からたくさんの「声」をお寄せいただき、誠にありがとうございます。ビジョンは皆様の声を大切に、ご期待にお応えするため努力を重ねてまいります。

# Q

## 今後のヘルスケア事業への取り組みについておきかせください

# A

当社は本年2月に、介護用品等の製造・販売会社である多比良株式会社から60%の株式を取得し、子会社といたしました。資本参加の目的は、育児、女性ケアと並ぶ三代目マーケティングの柱であるヘルスケア事業の強化を図り、長期的な成長を確実にするためです。

多比良(株)という社名は、同社の商品が老人ホームや病院などの施設向けで、小売店を通じて販売されることが少ないため、一般の方々には馴染みが薄いと思われれます。しかし創業以来、全国の老人介護施設や病院と太いパイプを築いており、全国に約4,500ある施設の80%とお取引いただいています。業界では知名度も高く、施設向けではトップクラスの売上を誇っています。

多比良(株)が施設向けに実績を積んでいるのに対し、当社は一般消費者向けに、小売店を通じて介護用品を提供しています。つまり

両社は、異なる販売経路をもち競合することが少ない上に、在宅向け、施設向けの両面からサービス提供が可能となり、それぞれのブランドがもつ強みを有効に活かすことができます。



また、消耗品を中心とした当社のヘルスケア事業に対し、多比良(株)は介護ベッドや車椅子なども扱っており、品揃えが広がることとなります。同時に、他社との競合からくる消耗品の価格低下圧力に対し、規模の拡大によるコストダウンを図ることが可能となります。



背中が出てしまう方やおむつ外しの予防に適したボディシャツ

当社のヘルスケア事業は年商約39億円にまで育ってきていますが、今回の資本参加によって一気に73億円が見込まれ、連結セグメントの約20%を占めるようになります。今後、介護市場の中で確固たる地位を確立すると同時に、育児事業に次ぐ柱として成長戦略を描くのに効果的な規模を確保できました。

現在、当社と多比良(株)の間では、連携を強めて相乗効果を発揮できるよう、交流を始めています。第48期には、次の大きなステップへ向けて、事業戦略を練り上げていきたいと考えています。

会社概要

社名	多比良(たひら)株式会社
本社設立	東京都中野区 昭和46年4月
資本金	210,400千円
事業内容	介護用品等の製造・販売
代表取締役社長	齊藤 裕

## 会社概要

(平成16年1月31日現在)

設立年月日	昭和32年8月15日
事業内容	育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入、ならびに保育事業
資本の額	5,199,597千円
従業員数	366名
【主要事業所】	
本社	東京都千代田区
事業所	茨城県稲敷郡阿見町
物流センター	茨城県稲敷郡阿見町・茨城県常陸太田市 兵庫県神崎郡神崎町
研究所	茨城県筑波郡谷和原村
営業所	札幌・仙台・大宮・東京・名古屋・大阪 広島・福岡 他1ヵ所
認可保育園	茨城県筑波郡谷和原村、東京都大田区
認証保育所	東京都練馬区
保育、託児施設	大阪府吹田市 他2ヵ所

## 株式の状況

(平成16年1月31日現在)

●会社が発行する株式の総数	60,000,000株
●発行済株式の総数	20,275,581株
●株主数	11,100名
●自己株式	281,564株*

\*うち250,000株は、ストックオプション制度の採用により保有しているものです。

### 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	議決権比率(%)
仲田洋一	6,249	31.4
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,183	5.9
資産管理サービス信託銀行株式会社	900	4.5
株式会社フクヨー	893	4.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	736	3.7
三井アセット信託銀行株式会社	558	2.8
ピジョン社員持株会	450	2.3
バンクオブニューヨーク・ロップパリティッド	331	1.7
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	233	1.2
第一生命保険相互会社	223	1.1

## 役員

(平成16年4月28日現在)

代表取締役会長	仲田 洋一
代表取締役社長	松村 誠一
専務取締役 <small>(経営企画室兼 テキスタイル事業部担当)</small>	小川 徹雄
常務取締役 <small>(子育て支援事業部担当)</small>	島田 弘子
取締役 <small>(マーケティング本部兼お客様相談室担当)</small>	倉嶋 喬
取締役 <small>(開発本部担当)</small>	高橋 貢
取締役 <small>(営業本部担当)</small>	勝木 尚
取締役 <small>(人事・総務部兼情報システム部担当)</small>	大越 昭夫
常勤監査役	牛木 昭喜
常勤監査役	太田 博史
監査役 <small>(非常勤)</small>	杉野 繁
監査役 <small>(非常勤)</small>	西山 茂
執行役員 <small>(経理部担当)</small>	高島 康
執行役員 <small>(子育て支援事業部担当)</small>	須郷 達也
執行役員 <small>(開発本部R&amp;D第一センター担当)</small>	長坂 明
執行役員 <small>(開発本部R&amp;D第二センター担当)</small>	山本 春美
執行役員 <small>(海外事業部担当)</small>	太田 和比古
執行役員 <small>(購買部担当)</small>	田中 公義
執行役員 <small>(物流部担当)</small>	小泉 朝敬

(注) 監査役 杉野 繁および西山 茂は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

### アンケートのお願い

今後のより良い誌面作りのために、本事業報告書をお読みになってのご意見をお聞かせください。

別紙アンケートはがきにご記入の上、ご投函いただけますようお願い申し上げます。



## 株主メモ

決算期	毎年1月31日
定時株主総会	毎年4月中
配当金	毎年1月31日（ただし、中間配当を行う場合は7月31日） 最終の株主名簿および実質株主名簿に登録されている株主 または登録質権者にお支払いいたします。
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同事務連絡先 (お問合せ先) (郵便物送付先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-707-696 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
手数料	名義書換 当社名義書換代理人へ直接お持込みの場合無料 新株券交付 その新株券発行に係る印紙税相当額
1単元の株式の数	100株
単元未満株式の 買取請求取扱場所	上記名義書換代理人がお取り扱いいたします。ただし、 実質株主名簿に登録（株券保管振替制度により株券を預託） されている場合は、お取引の証券会社等にお申し出ください。
公告掲載新聞	日本経済新聞 決算公告については当社ホームページに掲載しています。 ホームページアドレス <a href="http://www.pigeon.co.jp/">http://www.pigeon.co.jp/</a>

## ご案内

- ① 当社の配当金は、お取引銀行口座への直接入金方法をご利用いただきますと、迅速、確実に受け取りになれます。
- ② 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。



この報告書は、環境に優しい大豆油インキを使用  
して印刷しています。

**R100**

古紙配合率100%再生紙を使用しています